

TRANSITION TO HEALTH (097)

“ 新型コロナウイルス感染 ⑳ ”

～ ワクチンの**安全性**は確認されていない！ ～

基礎疾患を有する人は・・・ワクチンを打たないで！

『新型コロナワクチン(コミナティ筋注、ファイザー株式会社) 接種後に死亡として報告された事例の一覧 (令和3年2月17日から令和3年7月30日までの報告分) 』を解析してみると、やはり、死亡者909名中603名(66%)が一週間以内に死亡している。この方たちの死亡原因である「脳血管疾患」「心臓血管疾患」や「基礎疾患の増悪・重症化」などが“自然発生・自然経過”であるならば、また、検討会がいうように“因果関係が認められない”のであるならば、一日平均5.5名前後の死亡に留まり、平坦なグラフになるはずである。しかし、明らかにワクチンが原因で「死期が早められている」と考えざるを得ない。免疫力の低下している**高齢者**や重い**基礎疾患**を有する人は、ワクチン接種を**控えるべき**であると私は考えます。

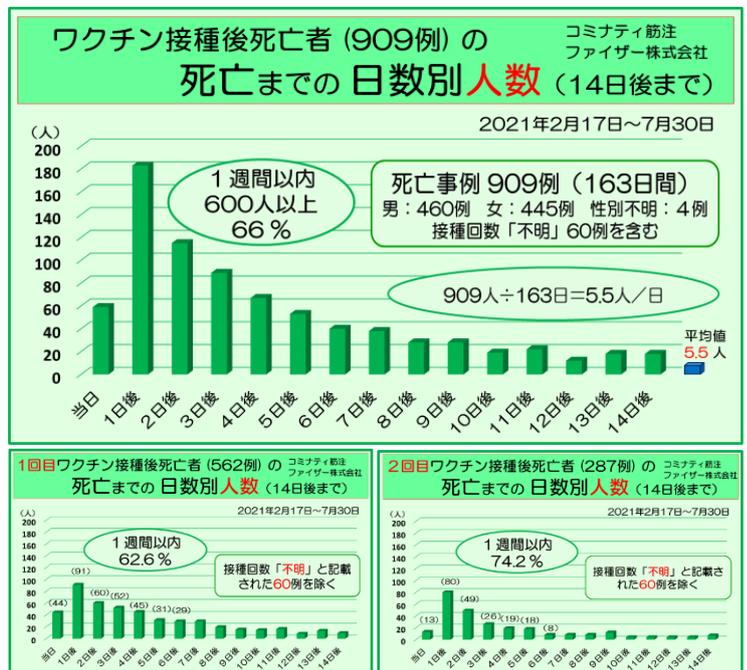
接種回数別に見てみると、接種の翌日に死亡者数のピークがあるパターンは同じであるが、1週間以内の死亡割合は、1回目では「62.6%」だが、2回目では「74.2%」に

上昇している。死亡との因果関係を認めたがらないワクチン推進派の医学会・医療界の中にあって900件を超えているのだから、実際には、少なくとも3倍以上(3,000件?)はあるだろうと思われる。今後、3回目接種、あるいは毎年接種という話になれば、高齢者でもない人にも、基礎疾患を持たない人にも、「接種後死亡」が報告されるのではなかろうかと危惧される。

メディアが伝える「ワクチンの効果で高齢者の感染者が減少している」は**見当違い**・フェイクで、本当は「感染したら重症化してしまう高齢者が、感染する前にワクチン接種の副反応で亡くなっている」というのが**事実**・ファクトではなかろうか？

新型コロナワクチンは安全性**軽視**の時短ワクチン

従来からワクチンには、意図的に炎症を引き起こして免疫細胞を活性化させる免疫賦活剤：**アジュバント** (adjuvant) が添加されていた。水銀(チメロサル)、水酸化アルミニウム、スクワレン乳液(ポリソルベート80)などがその例である。従来、ワクチン開発には5～10年かかっていたが、今回の**遺伝子編集ワクチン**開発では、**安全性**については**一切検証せず**、例外的に『**時短**』で開発された。初めから『**ワクチン接種ありき**』なのである。ワクチンで「抗体を産生させる・細胞性免疫を活性化させる」目的で、ウイルスのスパイクタンパクの遺伝子(抗原)をワクチンに組み込んで、ヒトの筋肉に注射し、筋肉細胞の中でタンパク合成システムを乗っ取って、ウイルスのスパイクタンパクを増産させ、**筋肉細胞の表面**にスパイクタンパクを**発現**させる。そのスパイクタンパクを私たちの免疫細胞が認識してB細胞が抗体を産生する(液性免疫)。同時に、



細胞性免疫も活性化されることに期待しているのである。もしかしたら、これは凄い“幻想”ではなからうか？

ワクチンは『地球規模の時限爆弾』！！

ウイルスのスパイクタンパクは、ワクチン接種後、ヒトの筋肉細胞の中の[細胞]核の外にある ribosome で産生される。そして、筋肉細胞内で増殖したスパイクタンパクは、やがて**筋肉細胞の表面に発現**する。この発現したスパイクタンパクを認識して、B細胞が**抗体を産生**する。この反応は「接種した**局所**・筋肉で行われ、スパイクタンパクは**局所**・筋肉に留まっている」とワクチンメーカーは説明している。ところが、移動しないはずのスパイクタンパクが、リンパ流・血流に乗って、**全身に拡散**して行くと疑わざるを得ない報告がある。『“地球規模の時限爆弾” — SARS-CoV-2 ワクチン接種患者の死後検査の最初の症例；全身の臓器に発見されたウイルスRNA』というレポートである。(by GREATREJECT 17/06/2021)

“Global time bomb” – First case of postmortem examination of SARS-CoV-2 vaccinated patient; viral RNA found in every organ of the body

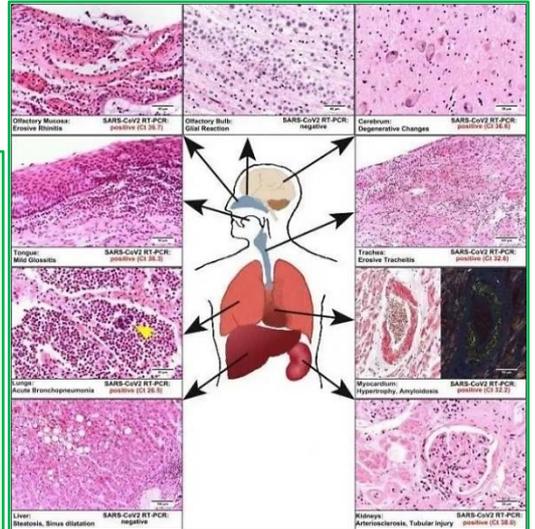
BY GREATREJECT - 17/06/2021
The very first autopsy of a person vaccinated against COVID-19 who was found to be negative 18 days later after hospitalization showed viral RNA in almost every organ in the body. The vaccine, although it triggered an immune response, did NOT STOP the virus from entering every organ in the body, reports Hal Turner Radioshaw.

症例：86歳男性 臨床経過
2021.01.09
ワクチン（コミナティ筋注）接種
接種後18日目
下痢、潰瘍性大腸炎（**血栓症**）にて入院
抗原検査（-）、PCR検査（-）
接種後24日目（入院6日後）
新型コロナ感染（無症候の同室者から）
接種後28日目（感染4日後）
死亡（ADE：抗体依存性感染増強の疑い）

症例は 86 歳の男性で、ワクチン接種 18 日後に、下痢の悪化、**血栓**による**潰瘍性大腸炎**を発症し入院。

スパイクタンパクが全身に拡散		
臓器・部位	SARS-CoV-2 RT-PCR	Ct 値
鼻粘膜	陽性	36.7
嗅球	陰性	
大脳	陽性	36.6
舌	陽性	38.3
気管	陽性	36.6
肺	陽性	26.5
心筋	陽性	32.2
肝臓	陰性	
腎臓	陽性	38.0

（作表・丸山）



入院時、抗原検査・PCR 検査ともに**陰性**であったため普通病棟に入院し、6 日後、同室の無症候の新型コロナ感染者から**感染**した。ワクチンを接種していた為、抗体依存性感染増強（ADE）・

免疫の暴走を起こし、4 日後に**コロナ感染に関連する特徴的な形態学的変化を起こすことなく急死**してしまった。病理組織学的検査では、全身のあらゆる臓器に**ワクチン由来のスパイクタンパク**が確認された。(上記写真及び RT-PCR 検査結果 参照)

◆ ワクチン接種後死亡患者の剖検から分かったワクチンの真実

米国 New Jersey 州の某病院の感染症専門家が、実名を明かさなことを条件に見解を述べていた。要約すると概ね次のようになる。① ワクチン接種は**無意味**であり（全く**機能しない**）、ウイルスに対しては自分自身の免疫システムで対応が可能。② ワクチン接種は、本物のウイルス感染（罹患）より**はるかに危険**である。③ ワクチン由来のスパイクタンパクが**全身の ACE2 受容体**に結合するため、**全ての人に副反応**は起こり得る。④ ワクチンの mRNA は注射部位に留まらず、**全身に拡散**する。⑤ mRNA によって産生される**スパイクタンパク**も、接種部位に留まらず**全身の臓器・器官に移動**する。⑥ **臓器・器官に損傷**を与えるのは、ワクチン由来の**スパイクタンパク**自身である。⑦ ワクチン接種を受けた人は、（本物の）ウイルスに対して**抗体依存性感染増強（ADE）**を起こす。以上の理由から、ワクチンのことを『地球規模の時限爆弾』と称しているのである。

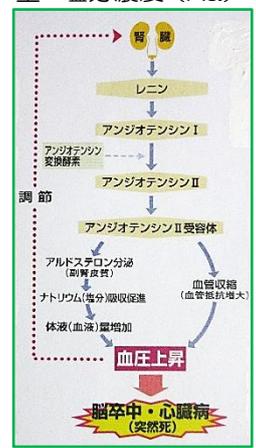
mRNA ワクチンの危険性・・・レニン-アンジオテンシン系を障害する！？

私たちの体には、**RAA 系（レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系）**という、体の水分（体液）量・塩分濃度（Na）・血圧を調節するシステムが備わっている。もし、ワクチン由来の**スパイクタンパク**が接種局所の筋肉に留まらず、全身の血管内皮細胞に存在する **ACE2 受容体（アンジオテンシン変換酵素2受容体）**に結合したならば、あるいは、ワクチンによって産生された抗体が **ACE2（アンジオテンシン変換酵素2）**自体を**不活化**したならば、いずれの場合も **RAA 系**は正常には機能せず、体液の恒常性が維持されず、**血圧異常**をきたしたり、全身の**血管の慢性炎症**や、**肺の線維化**を引き起こしたりするのではなからうか。

真実論・事実論・慎重論をすべて『デマ』とみなすマスメディア

NHK・民放各局などのマスメディアは、ワクチン接種による**長期的な副反応**を危惧する良識あるノーベル賞受賞科学者・研究者・医師・大学教授らの発する**警告**のほとんどを“**デマ扱い**”している。長期的な副反応としての「**不妊症**」「**癌**」「**自己免疫疾患**」などの発症の可能性に関して言えることは、「**副反応は無い!**」ではなく、「**副反応の報告は今のところ無い**」である。今後 5~10 年の観察期間が必要であろう。今、「**変異株はワクチン接種者から発生した**」と言えば、マスメディアは「**デマ**」というであろう。抗生物質の乱用で「**耐性菌**」が産まれるように、ワクチンの接種拡大で「**耐性ウイルス** ⇒ **変異株**」が産まれたという専門家もいるのだが・・・。

おわりに ワクチンを接種するか否かは**自分自身で決め**ましょう。TRANSITION TO HEALTH（医師 丸山正明）



日本心臓財団『HEART NEWS』より